

一般質問

1番 議席2番 染谷 直人 議員

- (1)小中学生への学習支援等について
- (2)沖縄県国頭村との友好交流の深化について
- (3)農家の所得向上について

2番 議席10番 田山 文雄 議員

- (1)住民サービスの向上の取組について
- (2)所有者不明土地の対策について

3番 議席1番 佐怒賀 康輔 議員

- (1)新型コロナウイルス感染対策について
- (2)町民への情報発信について

4番 議席3番 枝 史子 議員

- (1)町立学校再編整備計画素案について

4人の議員が登壇しました

議席2番

染谷 直人 議員



小中学生への学習支援等について

Q 「放課後児童クラブ」の利用状況や取組内容及び学習支援に関する今後の取組について、当町の考えを伺いたい。

A 当町では、平成31年度に5つの小学校全てに児童クラブの設置が完了し、令和4年度は定員数444名となった。保護者から児童クラブの時間を活用し、帰宅後の宿題の負担を減らしてほしいとの要望があり、新年度から各児童クラブに学校教育経験者の指導員を配置し、児童の宿題等の学習活動を直接指導できるよう準備を整えている。また、児童クラブを利用していない児童への学習支援「さかいっ子未来塾(4～6年生対象)」においても全学年を対象として学習支援できるよう検討し

てまいりたい。(教育次長)

Q 部活動の地域移行も子育て世代の関心事の一つであるが、今後の取組について、当町の考えを伺いたい。

A 部活動の地域移行の取組については、地域移行のための運営団体として、昨年11月に設立された「地域振興スポーツ財団」を母体として、当町の各スポーツ団体の協力も仰ぎながら進める予定。指導者の確保については、当町の各スポーツ団体の他、各種目においての専門家を「地域おこし協力隊」として招聘することも検討している。また、既存の部活動にはない、当町の特徴を生かした、BMXやホッケー、英語など、生徒のニーズを踏まえ、検討してまいりたい。(教育次長)

沖縄県国頭村との友好交流の深化について

Q コロナ禍前に実施していた中学生派遣事業は、両町村の友好交流の象徴的事業であったと認識しているが、事業再開を含め今後の取組について、当町の考えを伺いたい。

A 平成30年4月の「道の駅さかい」と「道の駅ゆいゆい国頭」との友好交流協定締結を機に、青少

農家の所得向上について

年育成の一環として、民泊や自然体験活動を通じ、リーダーシップを身につけることを目的として開催していた。令和5年度も青年会議所にご協力をいただき、中学生のリーダーシップ向上に繋がる各種事業を、誰もが経済的な負担を気にせず参加できるよう実施したい。(教育次長)

Q 米農家の所得向上のための政策について、新年度に向けての取組はあるか、当町の考えを伺いたい。

A 新たな取組として、地方創生拠点整備交付金を活用して、農産物の集荷拠点としての施設を整備し、町、株式会社舞台ファーム、大手外食産業と連携し、米や野菜の契約栽培による産地化を図る取組を進めており、多収品種の水稻「にじのきらめき」を大規模米農家が中心となって作付けすることが決定している。中小規模米農家に対しては、令和5年度もふるさと納税の返礼品として米を町で買い上げる取組を検討してまいりたい。(建設農政部長)